

意見募集結果 意見のまとめと対応

意見募集期間：平成30年9月27日 ~ 平成30年10月26日

意見数：7件

	項目	意見の要旨	対応(案)
1	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 公園整備の主たる目標を明確にし、城址公園を目指して欲しい。 都市公園機能の確保は重要だと考えるが、城址公園の整備を優先する中で両立を考えて欲しい。 	初雁公園については、城址公園化を目標としております。このため、遺構を保全、活用することを前提にしております。また、慶応3年当時の城郭の形を尊重しつつ、都市部にある憩いの場など、通常の利用も考慮し、整備してまいりたいと考えております。
	富士見櫓	<ul style="list-style-type: none"> 本丸御殿と富士見櫓を地続きにするため、校庭の南側の一部と駐車場に計画されているエリアの一部を交換できないか。 計画にある北門の復元では、城門としては魅力不足であるように感じられるので、富士見櫓の復元を実現して欲しい。 	富士見櫓の関係については、中期で検討してまいります。
	隣接学校用地	<ul style="list-style-type: none"> 旧城内の2つの小学校が統合など城址公園に活用できるスペースが新たにできた場合の公園の将来の姿を描いて欲しい。 	現段階で、学校用地等に公園の姿を描くことは、平成元年の基本構想と同じ状態になると考えております。このため、基本計画においては、段階的整備の長期目標の中で川越城址整備については川越城の総構が視覚できるようにすることで、ご指摘のような、将来的な整備の可能性についても踏まえているところです。
	早期供用開始	<ul style="list-style-type: none"> 中期(10年)は長いので、出来たものから開放し、一年でも早く公園の全面的な供用開始を実現して欲しい。 	平成元年の基本構想が進捗しなかった経緯を踏まえ、実施できるところから事業を着手してまいります。
	川越城址の整備	<ul style="list-style-type: none"> 川越城址のエリア内の道路については、色の違う舗装をして、その地域が旧城内に当たることが分かるようにしたらどうか。 	川越城址に係る回遊路は、段階的整備の長期目標の中で、美装化等の整備を行うこととしております。
	段階的整備	<ul style="list-style-type: none"> 今後の学校の統廃合や街の南進化による空地ができるなどの状況変化を予想し、100年後の広い範囲の復元の姿を描いてもらいたい。 	現段階で、学校用地等に公園の姿を描くことは、平成元年の基本構想と同じ状態になると考えております。このため、基本計画においては、段階的整備の長期目標の中で川越城址整備については川越城の総構が視覚できるようにすることで、ご指摘のような、将来的な整備の可能性も踏まえているところです。
2	隣接学校用地	<ul style="list-style-type: none"> 「市制100周年から次の100年」という長期の目標として、学校用地部分について目標を定めておくことは重要 長期の記載について、県立川越高等学校の移転に伴う公園・城址の整備について検討する旨を明記すべき。 	現段階で、学校用地等に公園の姿を描くことは、平成元年の基本構想と同じ状態になると考えております。このため、基本計画においては、段階的整備の長期目標の中で川越城址整備については川越城の総構が視覚できるようにすることで、ご指摘のような、将来的な整備の可能性も踏まえているところです。
3	川越城址の整備	<ul style="list-style-type: none"> 平成元年の基本構想の区域は13.5haが縮小されたが、今回除外された地域を景観に配慮する地域に位置付けられないか。 	基本構想については、約13.5haを面的に整備するものでしたが、今回の計画では、面と点及び線で城址全体の約40haについて検討したものです。景観に配慮する地域については、関連上位計画との整合等を図る必要があり、規制等の関係も考えられますので、ご意見として頂戴させていただきます。
	駐車場進入路	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の進入路と武道館東側の道路がクランクしているが、交通量の多い主線道路と十字交差にして欲しい。 	今後、基本計画で定めたゾーニング等を基に、整備に着手することになりますが、駐車場の出入り口や道路の交差点の形状等の具体的な内容については、設計時において、関係機関と協議してまいります。
	新曲輪・浸水ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> 新曲輪・親水ゾーンで構造物を新たに設けるときには湧水を遮断しないようにして欲しい。 	設計時に留意してまいります。
	防災	<ul style="list-style-type: none"> マンホールトイレを多めに設けて欲しい 	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
	P-PFI	<ul style="list-style-type: none"> P-PFIを活用では、事業者側の努力や能力を引き出すため、業者(テナント)側の営業方針で設備や内装が設けられるものとして欲しい。 	貴重なご意見として参考にさせていただきます。
4	駐車場進入路	<ul style="list-style-type: none"> 国道254号の交差点から大型バス駐車場の出入口が近い 	現状の基本計画図においては、国道254号と市道0001号線の交差点から駐車場入口は約40m程度となっております。駐車場の出入り口の形状等については、今後、

項目		意見の要旨	対応(案)	
	駐車場進入路	・大型バスの出入りの車線については対面交通とし欲しい	警察、道路管理者等と協議してまいります。 駐車場の出入り口の形状等については、今後、警察、道路管理者等と協議してまいります。	
	施設配置	・駐車場近くに観光客用に市の名産品お土産店を設けてほしい。 ・川越城本丸御殿の観光客の拝観口は正面に設けてほしい。 ・山野草園に小江戸を象徴させる東京スカイツリーの20分の1のツリーを設けてほしい ・三芳野神社に「とうりゃんせ」の歌うモニュメントを設けてほしい。	案内所、カフェに売店も想定しております。 本丸御殿の正面に部分の遺構を復元し、本丸御殿の正面から入場する予定です。 東京スカイツリーの20分の1の模型については、城址公園化において初雁公園に設置すべき理由がないと考えております。	
	防災	・防災設備を整えた防災センター公園を設けてほしい。	初雁公園は、防災機能を備えた公園として整備する予定であります。	
5	カラス対策	・安心して利用できるようカラス対策をして欲しい。	維持管理運営の際に考慮してまいりたいと考えております。	
	施設配置	・天候や気温に関係なく利用できる公園として、屋内遊具施設や軽食ができるカフェやレストランを設けて欲しい。	本計画においては、案内所にカフェ等を設置する計画としております。	
	施設配置	・公園内に川越の魅力を伝える店舗を整備してほしい。	利活用計画において、川越城、川越藩の歴史、城下町の歴史等の川越の魅力を伝えることとしており、案内所(カフェ)等に展示スペースを設置してまいりたいと考えております。	
6	全体	・本計画は、貴重な遺構を更に破壊する計画であると考え。 ・川越市には、保存管理計画がないため、一貫性がない。 ・史跡(城郭)の復元について、本来の姿を逸脱しておこなってはいけないと考える。城跡を訪ねたときに、当時に思いをはせることができ、立ったときに名城100選の19番の川越城を感じさせるものでなくてはならない。 ・歴史公園ならば、史跡整備をすべき、土塁は本来の土塁とすべき。 ・土塁の樹木は、明治、大正に植樹されたものであり、伐採すべき、倒木により三芳野神社の危険性が高い。	本計画は、運動公園から歴史公園にしようとするものであり、残された遺構については保存を前提にして整備してまいります。また、史跡川越城跡の保存管理計画は、策定されておりませんが、今回の初雁公園基本計画の策定にあたり、文化財保護のあり方をお示しさせて頂きました。 都市の中に存する史跡については、新しいものが積み重ねられているものであり、現状の史跡川越城跡を見ても、住宅や公共施設があるところです。 したがって、現状を踏まえ、貴重な資源である遺構の保存、活用を図ってまいりたいと考えており、都市部における新たな史跡整備の形として進めてまいりたいと考えております。	
	細部	基本方針	・文化財保護法を念頭に置き、位置づけも都市公園の特殊公園である「歴史公園」とすべき。 ・運動公園のような利用で史跡や歴史公園として整備するという方針と隔たりがある。 ・基本的考え方の「新たな観光拠点」は、「観光拠点としての再構築」とすべきではないか。 ・施設整備にあたっては、将来の遺構の復元に支障のないようにすべきであり、史実に基づいたものとするべき。	初雁公園は、歴史公園として、史跡としての本質的価値となる要素等を伝えてまいります。このため、資源依存型公園に生まれ変わりますが、ユーザーのことも考えなければならぬということで、様々な利活用も併せて検討しております。 施設整備にあたっては、「遺構の保全と旧状復元エリア」と「遺構等の視覚化と活用エリア」に区分したうえで、本丸御殿周辺は、真証性を重視したものとし、堀跡等は、堀としての視覚化したうえで、利用するなどしてまいります。 なお、観光拠点としては、現在の運動公園から歴史公園になることで新たなという表現を使用することにします。 なお、公園については、利用する方の年代、趣味、趣向によって、ニーズが異なるものであると考えておりますので、多くの方に利用して頂ける公園にしてまいりたいと考えております。
	細部	施設	(案内所、カフェ、売店) ・環境悪化をもたらす案内所は不要	(案内所、カフェ、売店) 多くの市民が利用して頂くためにはカフェ等の公園の魅力向上施設は必要であると

項目		意見の要旨	対応(案)
		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史公園としての機能として、カフェや売店は不要。 ・スタンド等、史跡に相応しくないものは不要 <p>(芝生広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養生に多大な手間と経費がかかるため、芝生広場には人を入れないようにすべき。芝生への散水は、三芳野神社社殿に水がかかり汚損の原因となる。 ・イベント等は、いらない。 <p>(駐車場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初雁公園内に駐車場を設置する必要性はあるのかが疑問。観光客向けであれば、国道254号線の東側に無料駐車場を設けるべき、防災の観点から駐車場を2階建てとして2階部分を無料休憩場にして浸水時に避難場所としてはどうか。 ・初雁公園内の駐車場利用は市民優先とすべき。 <p>(エントランス広場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エントランス広場は、本丸御殿の格式のある庭園とし、江戸期の本丸御殿を創造できる空間とすべき。 <p>(園路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三芳神社東側園路は高木の倒木等に留意すべき。 ・本丸御殿から三芳野神社に至る場所を整備すれば、歴史の散歩道は不要 <p>(防災倉庫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫・便所の予定地は低地であり、新河岸川の増水や入間川の堤防決壊などの浸水を考慮すると不適切。 <p>(土塁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土塁は視覚化するのではなく復元することを考えるべき。 <p>(マンホールトイレ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンホールトイレは武道館脇の駐車場に設置すべき 	<p>考えており、城跡の見学等の目的でくる方だけではなく、積極的に人を呼び込むことで、結果的に歴史を体感していただくことも可能になり、史跡としての存在価値が向上するものであると考えております。</p> <p>また、野球場等についても川越市にとっては大きな歴史の一つであると考えておりますので、過去に野球場があって、市民に親しまれたことも併せて伝えてまいりたいと考えております。</p> <p>(芝生広場)</p> <p>多くの市民が活用するなかで、公園の価値を向上させることが可能になると考えております、なお芝生広場の散水等については、ご指摘の内容を踏まえ検討してまいります。</p> <p>(駐車場)</p> <p>現状、初雁公園周辺には、博物館、美術館、武道館等の公共施設もあり、駐車場利用に対する需要は大きい状況です。また、市としても中心市街地の渋滞対策、観光繁忙期の駐車場問題があります。これらを踏まえたうえで、初雁公園に多くの方が来ていただくよう、公園管理者として適当な数を設置していきたいと考えております。</p> <p>(エントランス広場)</p> <p>エントランス広場は、公園の入り口として多くの方に来ていただくためには、重要であるとかんがえています。</p> <p>(園路)</p> <p>歴史の散歩道は、土塁があった場所を歩くことにより、西側に本丸御殿、東側に堀を感じることができるようにする園路として想定したものです。</p> <p>(防災倉庫)</p> <p>防災倉庫がある駐車場は、現状の野球場より地盤を高くする計画です。</p> <p>(土塁)</p> <p>土塁については、全てを復元することは周辺の状況、敷地の状況から見ても、現実的ではないと考えておりますので、復元するところと視覚化して伝えるところの取舍選択が必要であると考えます。北門の両脇の土塁については復元する方向で検討してまいります。</p> <p>(マンホールトイレ)</p> <p>避難場所に近いところに設置したいと考えております。</p>
	植栽	<ul style="list-style-type: none"> ・本丸御殿北側は、庭園とし、茶会等を企画すれば有効活用ができる。 ・植栽は土塁の保護を優先し、土塁上の木々は伐採すべき。 ・薬草園は薬草の選択と管理が重要である。ハーブ程度であれば不要。 ・旧城内である初雁公園として相応しい植栽とすべき。また、椿は花が落ちるので避けていた、梅林を検討すべき 	<p>本丸御殿北側は、遺構等の保存と旧状復元エリアとして、真証性をもって整備してまいりたいと考えております。土塁の樹木については、木の根の効果で法面が維持できている面もあり、また、都市部では貴重な緑を形成している要素と考えております。植栽については、一応の方向性を示しておりますが、樹種については設計時についても検討してまいります。</p>
7	富士見櫓	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見櫓の復元等は困難であることは理解したうえで、城址公園の象徴として天守閣は必要であると考えことから、管理事務所予定地に富士見櫓を模した川越市歴史資料館として石垣土台の木造(鉄筋コンクリートでも可)構造による城を建設して欲しい。 	<p>富士見櫓の関係については、中期で検討してまいります。</p>